

＝平成30年度早川南小学校だより＝

はるき



平成31年2月7日

No.43

校長 坂野修一

いよいよ、ありがとうコンサートです！

感謝

中部横断自動車道3月10日開通のニュースに、喜びをかみしめている私です。あの西島・切石の渋滞地獄がきっと解消するだろうと、3月11日(月)の出勤が今から楽しみでなりません。一方、心配でならないのが、9日(土)のありがとうコンサート当日の天気です。史上最大級の寒気が日本列島に襲来の予想ですが、最新の予報を見ると、たいして雪は降らないような感じです。大丈夫かな？

さて、そのありがとうコンサートが、いよいよ明後日と近づいてきました。ご承知のとおり、無風の状態から突然嵐のように猛威を奮ったインフルエンザ…。この間に、児童12人、職員2人が罹患しました。今週になってだいぶ落ち着いたとはいえ、今なおしつこい咳と喉の不快感、鼻水に悩まされているようです。なかなか全員揃っての練習ができませんでしたが、いざ練習が始まると、校舎内に心地良い子どもたちの声と、金管の音色が響きます。

『歌声は、その学校の文化を表す』という言葉聞いたことがあります。私が学級担任であった頃は、合唱をすることも、学級集団づくりや学年集団づくりの一助としてきました。5年生とか3年生とか、クラス替えのある学年を持つことが多かったので、まずは顔を合わせ、心を合わせ、そして歌声を合わせました。きれいなハーモニーは、一朝一夕にできるものではありません。仲の良い集団で、落ち着いた生活ができていなければ、合唱なんて到底無理な話です。

本校の子どもたちは、歌がとても上手です。吹奏楽活動も日常的に行っていますので、音楽に対しての感性が、他校に比べてあるのでしょう。良い音楽を聴く機会にも恵まれているからでしょう。「高学年のハーモニーのように美しい合唱をしたい」「プロの演奏家のような良い音を出したい」そんな子どもたちの思いが自然に出てくるからこそ、今の早川南小学校の歌声があり吹奏楽活動があると思います。荒れてる学校では、子ども達の喧嘩の声や奇声、それを叱る教師の声など、とても合唱をする雰囲気になれません。逆に、落ちついた学校では、ふわふわ言葉にあふれ、美しい歌声が聞こえてくるのです。早川南小学校は、後者の学校であると思っていますし、また、そうでなくてははいけません。だから、『歌声は、その学校の文化を表す』なのでしょう。

明後日のありがとうコンサートに向けて、練習も佳境に入ってきました。『短期集中』という言葉どおり、遅れを挽回すべく、どの学年も一生懸命練習をしています。吹奏楽も、合唱も、子どもたちは、現状における最大値を発揮することでしょう。是非、ご家族ご親戚、ご近所お誘いの上、学校に足を運んで下さい。

早川南小へようこそ！

あなたは**30448**人目のお客様です。

2013.6.6 新規運用開始

?????の出来事

本校に公式HPと公式FBがありますが、そのHPのアクセス数やFBのリーチ数を気にして毎日チェックしています。実はHP30000人目お客様の瞬間をスクリーンショットしようと思っていたのに、1月23日の朝チェックしたら、カウントが30106に…。一日平均15～20人のお客様が、その日に限り一日だけで400！スクショ取り損ねました。なぜ？これからも、本校HPとFBをよろしく願っています。